

国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業費
328百万円(300百万円)

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

国立公園等の貴重な自然環境を有する地域において、自然や社会状況を熟知した地元住民等を雇用し、国立公園等の管理のグレードアップを図るとともに、自然環境保全活動の推進を図る。

具体的には、

(1) 地域のニーズに対応したきめ細かな活動(地域密着型事業)

野生生物の保護・保全、 利用集中山岳地の保全・管理、 スノーモービル等の乗り入れ禁止地域の監視、 清掃困難地等における環境美化等

(2) 自然環境保全に係る政策的課題に広域的又は重点的に取り組む活動(広域・重点型事業)

外来種対策、 世界自然遺産登録地及び候補地における保全管理、ラムサール登録地及び候補地における保全管理の充実を図る。

(3) 自然と共生する地域づくりを支援する活動(地域再生・支援型事業)

観光立国及び景観法の対応としての景観形成、 エコツーリズム推進の支援に新たに取り組む。

2. 事業計画

平成13年度	49事業を実施	(1.9億円)
平成14年度	127事業を実施	(5.2億円)
平成15年度	70事業を実施	(1.5億円)
平成16年度	88事業を実施	(3.0億円)
平成17年度	92事業を実施予定	(3.3億円)

3. 施策の効果

上記事業の成果を得ることにより、国立公園の管理のグレードアップを図ると同時に、環境分野での新たな雇用の確保や地域の活性化、観光立国・良好な景観形成の実現に貢献。

事業費100百万円あたり、概ね4,000人日の雇用見込み。

国立公園等民間活用特定自然環境保全活動（グリーンワーカー）事業費

国立公園等の保安全管理上の諸問題

高山植物の盗採や高山蝶等の密猟があとをたたない
外来動植物の侵入による自然生態系への影響が懸念
山岳地や湖沼等での投棄物の処理に苦慮
利用集中期のお花畑等への踏み込みがあとをたたない
利用集中山岳地の登山道が荒廃
人為による裸地や里地里山・人工林の放置による生物多様性の喪失
野生動植物の生息・生育地への違法な車両の乗り入れがあとをたたない 等々

スノーモービル等乗り入れ禁止区域での指導



国立公園等の保安全管理グレードアップ

盗採・密猟の監視活動による貴重な動植物の保護
外来種の除去・捕獲による健全な自然生態系の確保
投棄物回収による自然の風景の維持
過剰利用からの自然植生の保護
利用集中山岳地における登山道のきめ細かな維持管理の実施
森林の保全再生による生物多様性の保全と地球温暖化の防止
違法な車両の監視活動による野生動植物の生息・生育環境の保全 等々

山頂での埋設ゴミの回収



グリーンワーカー事業の実施

自然や社会状況を熟知した地元住民等を雇用し事業を実施